

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0004-0805 サービス名称: FormFactory 事業者名称: エンバーポイント株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2020/4/1
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 エンバーポイント株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 1999
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	必須 20
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須
	事業所数(国内、国外)		国内:2	
	主な事業所の所在地		東京、新潟	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 エンバーポイントは、企業とユーザー間をはじめ、様々な関係性における最適なコミュニケーションの実現を目指し、サービスを提供します。
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 渡辺俊
			代表者写真	選択
			代表者年齢	
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	
7	役員	役員数	選択	
		役員氏名及び役職名		
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 非公開 (官報へ公開前のため、2020年4月現時点で外部への売上公開禁止。)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 415,080千円
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0004-0805 サービス名称: FormFactory 事業者名称: エンバーポイント株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択
- コンプライアンス				
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択
24	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等書類の名称	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等書類の名称	必須○
		上記の書類の経営陣による承認の有無	上記の書類の経営陣による承認の有無	あり
25	文書類	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択
		上記の書類の経営陣による承認の有無	上記の書類の経営陣による承認の有無	-
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須
		上記の書類の経営陣による承認の有無	上記の書類の経営陣による承認の有無	あり MailPublisher ASPサービスセキュリティ概要 1.7版 なし
- サービス基本特性				
27	サービス内容	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須
		サービス開始時期	サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)	必須
29	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つ中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0004-0805 サービス名称: FormFactory 事業者名称: エンバーポイント株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	FormFactoryは、会員情報の収集から、データ管理、メール配信、効果測定までをワンプラットフォームで可能にするASPサービスです。多様なフォームを簡単に作成できるだけでなく、フォーム内の項目設定やデータ管理も柔軟性が高く、マーケティング自身が手軽にキャンペーン管理を行えます。
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		なし
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲 (契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	原則行わないが、専用環境の構築などによる対応は可能
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前前、3ヶ月前前、6ヶ月前前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	12か月前
		告知方法		契約者連絡先へのメールにて
33	サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	原則自社後継サービスへの移行を支援
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		なし
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		なし
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	エンバーポイント サポートセンター E-mail: support@emberpoint.com Tel: 0570-008-160(受付時間: 平日 10:00~18:00)
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	A)メールの配信量、フォームの追加数に応じて課金されます。 B)登録レコード数に応じて課金されます。
		固定部分の課金方法		A)登録会員数によらず、月ごとに一定額が課金されます。 B)メールの配信量、フォームの追加数によらず、一定額が課金されます。
36	サービス料金	初期費用額	必須	50000円、その他構築支援、独自ドメイン使用などオプションあり
		月額利用額		利用方法により課金形式の選択可 A)登録会員数無制限、メールの配信量及びフォームの追加数に応じた課金月額17000円~ B)メールの配信数及びフォームの追加無制限、登録レコード数に応じた課金月額23,000円~
		最低利用契約期間		1か月
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	なし。ただし、終了日は月末とし、月途中の日を解約日とすることはできません。
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	あり:解約希望日の1か月前まで

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0004-0805 サービス名称: FormFactory 事業者名称: エンバーポイント株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	99.98%(2019/4/1-2020/3/31)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン3、対策参照値95%以上
		サービス停止の事故歴		2件(2019/4/1-2020/3/31) 2019/09/10 12:00 - 2019/09/10 13:21 【JP1】fofa.jp_管理画面アクセス不可 2020/03/29 5:52 - 2020/03/29 5:53 【JP4】複数サービスドメインESXホストにてホスト再起動が発生し複数サービスサーバでHAIによる再起動発生
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	-
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		-
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	-
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	-
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	当サービス登録フォームの利用の際は、利用者による個人情報の利用目的などの掲載が必要な旨の、利用上の注意を配布。弊社サービス利用申し込みにもなう個人情報の利用目的は、HPに表示。
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	-
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		-
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	システム関連、アプリケーションデータとも1日
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	システム関連、アプリケーションデータともデータにより3~365世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	-
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	なし
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付されない
49	サービス利用量	利用者数	選択	-
50	サービス利用量	代理店数	選択	-

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0004-0805 サービス名称: FormFactory 事業者名称: エンバーポイント株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	FormFactory	
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	FormFactoryは、会員情報の収集から、データ管理、メール配信、効果測定までをワンプラットフォームで可能にするASPサービスです。多様なフォームを簡単に作成できるだけでなく、フォーム内の項目設定やデータ管理も柔軟性が高く、マーケティング自身が手軽にキャンペーン管理を行えます。	
52		主要ソフトウェアの提供事業者	必須	エンバーポイント株式会社(申請者に同じ)	
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	なし
			標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		-
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	アプリケーション:5分 プラットフォーム:5分 サーバ・ストレージ:1分 情報セキュリティ対策機器:5分 通信機器:1分
			障害時の利用者への通知時間		営業時間内: サービス提供に関わる障害を確認してから1時間内の通知を目標 営業時間外: 原則翌営業日対応だが、営業時間外でも可能な限り迅速に対応
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	あり
56		時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	NTP
57		ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	ウイルスチェック:あり (アップロードファイル、受信メール) パターンファイル更新間隔:常時
58		記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	ログ取得: 利用状況、例外処理、セキュリティ監視 ログ保管期間: 90日。ログデータ長期保管オプションにより1年。 ASPシステム全体に関わる重要部については当社基準の期間で保存。
59		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	リリース後速やかに必要性を判断し、その結果に基づいて対応いたします。脆弱性は、システム構成、アプリケーションでの対応、およびIPS/IDS サーバによる防御を含めて総合的に判断いたします。
- ネットワーク					
60	回線	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線(専用線、VPN利用希望は応相談)
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	IDC(サービス提供拠点)と利用者間のユーザ接続回線は責任範囲外とする
61		推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	あり:10Mbps以上(携帯向け操作画面利用の場合を除く)
62		推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	パソコン: Windows, Macintosh
			利用するブラウザの種類	必須	Windows 版Internet Explorer ・ Windows 7 - Internet Explorer 11 ・ Windows 8.1 - Internet Explorer 11 ・ Windows 10 - Internet Explorer 11, Edge Windows 版Firefox Mac 版Firefox ※Firefox はWindows/Mac 共に最新バージョンでの利用を推奨しております。 なお、最新バージョンであっても正式バージョンでない場合(ベータ版など)は正常動作しない可能性がありますので、ご注意ください

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0004-0805 サービス名称: FormFactory 事業者名称: エンバーポイント株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○ あり
64		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須 あり
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択 -
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○ あり
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○ ID/パスワードによる認証 お申込みにより接続元IPアドレス制限
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○ 管理者権限運用手順あり
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須 SSLによる正規サイト証明を実施
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択 -
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須 専用建物
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須 日本: 関東地域
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須
	免震構造や制震構造の有無		有り(制振装置付免震構造)	
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須 UPSあり 停電補償時間5分
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須 66KV受電設備 複数回線(SNW、本線予備線、ループ)
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須 自家発電装置N+1の冗長構成 連続稼働時間48時間
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須 あり: 窒素ガス消火システム
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須 あり: サーバ室に超高感度火災検知システムを設置
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須 あり: 避雷針を設置
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須 対策有り: 避雷器を設置、耐電圧1.5kV(過電圧カテゴリII)
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択 -

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0004-0805 サービス名称: FormFactory 事業者名称: エンバーポイント株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
82	セキュリティ	入退室記録の有無と、 入退室記録がある場合はその保存期間	必須	入退室記録あり(申請に基づく本人確認を都度実施) 保存期間: 1.5年間
		監視カメラの有無と、 カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		監視カメラ有り 稼働時間と監視範囲: 建物周囲、受付、サーバ室入口を24時間体制で有人監視 映像の保存期間: 非公開
		個人認証システムの有無		あり: ウォークスルー顔認証システム、静脈認証
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	DCサービスとして媒体保管は提供していない
		保管管理手順書の有無		DCサービスとして媒体保管は提供していない
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	-
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	エンバーポイント サポートセンター E-mail: support@emberpoint.com ナビダイヤル: 0570-008-160
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		サービス利用契約者に開示
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	受付・対応時間: 月曜～金曜10:00～18:00 (土日祝日および弊社年末年始休業日を除く)
		メンテナンス実施時間		サポート窓口のメンテナンスはありません
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)	選択	-
		放棄率の実績値(単位: %)		-
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		-
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		-
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	サービス利用法、操作方法、障害などトラブル対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール、問い合わせフォームにて
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	冗長構成、負荷分散を行う
90	事故発生時の責任と補償範囲	ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無、有る場合はその文書名称	必須	あり、利用約款
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期(1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	お客様に影響のある定期メンテナンス: 6週間前
		告知方法		電子メール
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		あり
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	あり
93	定期報告	利用者への定期報告の有無(アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	なし

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。